

「テーマを決めてスピーチの会で紹介しよう」
～聞き手に分かりやすく伝えるように工夫して話す～

出題の趣旨 自分の考えが相手に分かりやすく伝えるように工夫して話すことができるかどうかをみる。

【千葉県の課題と関連する問題例】 ① 三

三 この会の最後に、第一中学校の生徒がお礼の言葉を述べます。あなたなら、橋本さんに對してどのように述べますか。次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 橋本さんへのお礼の言葉を実際に話すように書くこと。

条件2 橋本さんの伝えたいことを取り上げて、自分がそれをどのように受け止めたのかが分かるように具体的に書くこと。

※左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【学習指導要領における領域・内容】

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。

【解答を導き出すために、子供に気付かせたいポイント】

- お礼の言葉としてふさわしい内容で書くこと。
- お礼の言葉としてふさわしい言葉遣いで実際に話すように書くこと。
- 橋本さんが伝えたいこと（メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げることが書道パフォーマンスの魅力）を書くこと。
- 橋本さんの伝えたいことを自分がどのように受け止めたのかが分かるように具体的に書くこと。

【授業改善例】

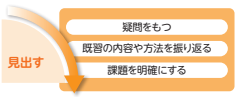
(4) 発表や短冊によって、友達のスピーチで分かったことや良い点を伝え合い、学習を振り返る。

(1) スピーチの必要性、優れている点を確認し、学習の見通しをもつ。スピーチするテーマと内容を決める。

(3) 学級やグループでスピーチの会を開催する。聞き手はスピーチ聞き取りメモを取る。

(2) スピーチメモを作成し、友達とスピーチの練習をする。





スピーチの必要性、優れている点を確認し、学習の見直しをもつ。
スピーチするテーマと内容を決める。

予想される子供の疑問：スピーチの必要性、スピーチの良さとは何だろうか。
整理し、焦点化した疑問：聞き手が分かりやすいスピーチとはどのようなものか。

➡ 〈課題〉学習の見直しを持ち、スピーチする話題と内容を決める。

第1時

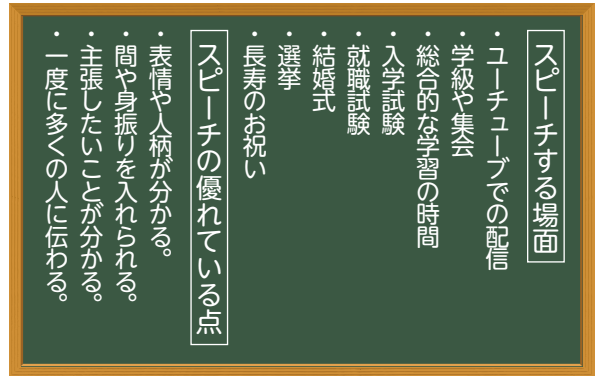
(1)スピーチの必要性、優れている点を確認する。

なぜスピーチを
する必要がある
のかな。



スピーチをする場面はど
んなときだろう。動画投
稿サイトで公開すると世
界中に伝えられるよ。

消極的な発言に対しては、認めつつ誰もがスピーチする機会がある
ことを自覚させ、スピーチの必要性や優れている点を意識させます。



(2)スピーチをするテーマを決める。

<テーマの設定例>

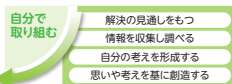
- ・「これからの日本」が進むべき方向を主張
- ・宿泊学習で行う活動を決めるスピーチ大会

テーマを決める際は、時期や実態(年度当初、話し合い活動の取組状況等)に応じて、各自にするか、学級全体で一つにするかを検討します。

(3)スピーチする内容を決める。

- ・スピーチする内容を考えるにいたった理由・きっかけ
- ・具体的な活動・取組例 など

多くの聞き手が興味・関心をもつような内容を選択するよう意識させ、相手の立場なら、どのようなことを聞きたいかを考えさせることが大切です。



スピーチメモを作成し、友達とスピーチの練習をする。

子供の「見方・考え方」：内容を整理し、スピーチの構成や順序を考えることができる。
課題解決の視点や方法：例を参考にスピーチメモを作成し、友達の助言を参考にして内容を修正する。

➡ 〈視点〉聞き手を意識した分かりやすいスピーチをする。

第2時

(4)スピーチメモを作成する。

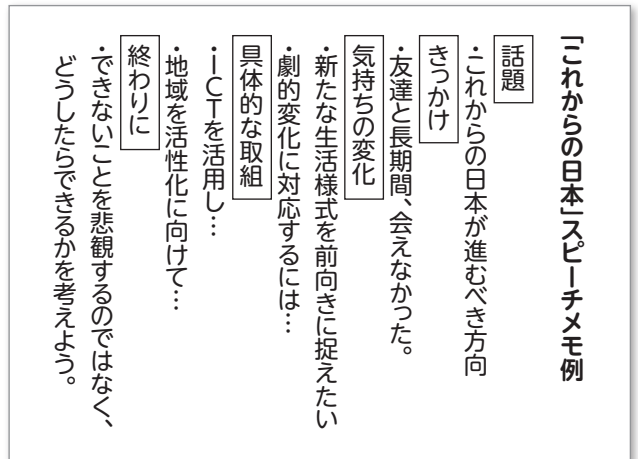
みんなの前で話そうとすると、うまく言葉が出てこないときがあります。話している途中でよく分からなくなって、困ってしまいます。



その気持ちよく分かるよ。では、スピーチメモを作ってみるのはどうだろう。例を参考にして書いてみよう。



スピーチメモがあれば、緊張しないで済むかもしれないな。だって、スピーチの柱を見ながら話していいんだよ。



「聞き手に分かりやすい順序や構成であること」、「箇条書きは長くないこと」、「内容は決められた時間」を意識してスピーチメモを作成・整理できるよう、具体例を示すようにします。

(5) 友達とスピーチの練習し、お互いに助言し合う。

スピーチメモを見てもうまく話せるか心配だなあ。やっぱり、難しいな。



先生もスピーチをするとき、言いたいことがうまく伝わっているか心配になるよ。**どんな点に注意したら、分かりやすいスピーチになるだろう。**

- スピーチするときの注意点
- ・間の取り方
 - ・視線
 - ・表情
 - ・身振り、手振り
 - ・分かりやすい順序・構成
 - ・スピーチの制限時間
 - ・聞く人の表情や態度
 - ・聞く人たちの反応

スピーチするときの注意点を挙げた後、友達同士で聞き合い、助言し合う時間を設定し、助言を生かして内容を修正させます。スピーチメモを見てうまくいかない場合には、スピーチ原稿を作成させます。

広げ 深める

新たな考えに気付く
友達と互いに学び合う
自分の考えを伝える

学級やグループでスピーチの会を開催する。聞き手は、スピーチ聞き取りメモを取る。

主体的に学び合う姿：話し手は聞き手の反応を見ながら発表し、聞き手は話し手が伝えたいことを考えながら発表を聞き、聞き取りメモを取る。

考えをつなぐ手立て：友達が伝えたいことやスピーチの良い点を記入したスピーチ聞き取りメモ。

➡ 〈展開〉間の取り方、視線、表情、身振りなどを工夫する。

第3時

(6) グループでスピーチの会を開催する。

聞き取りメモを確認しながら、感想を発表する生徒を指名しておきます。

<話し手>

- ・聞き手の反応を見ながら発表する。
- ・スピーチメモや原稿を見る際、下を向いたり棒読みになったりしないよう意識する。

<聞き手>

- ・話し手の伝えたいことは何かを考える。
- ・聞き取りメモを取る。

聞き取りメモ(例)

| 氏名 | 友達が伝えたいこと | スピーチの良い点 |
|------|-----------|----------|
| 〇〇〇〇 | | |
| ●●●● | | |
| □□□□ | | |

まとめ あげる

新たな疑問をもつ
学んだことを確実に身に付ける
学んだことをまとめる
思考の過程を振り返る

発表や短冊によって、友達のスピーチで分かったことや良い点を伝え合い、学習を振り返る。

自分の思考の振り返り：分かりやすいスピーチになったか。

考えを整理させる視点：内容や構成、順序を工夫したか。話し方に注意して発表したか。

➡ 〈整理〉自分のスピーチの良い点や改善点をこれからどのように生かすかを明確にする。

第4時

(7) 友達のスピーチで分かったことや良い点を伝え合い、学習を振り返る。

聞き取りメモを基に、**スピーチで分かったことや心が動いたことを発表する。**聞き取りメモを短冊状に切り、発表者に渡す。

指名した生徒に発表させる際、友達のスピーチで分かったことや良い点のほかに感想や意見を述べさせます。

☑ 自分の言葉で学習のまとめを書く

- ・短冊状の聞き取りメモをノートに貼る。
- ・貼り付けた聞き取りメモを基に、学んだことを自分の言葉でノートにまとめる。
- ・**今回の学習をこれからどのように生かすかを具体的に書く。**

動画投稿サイトで公開して、たくさんの人に聞いてもらおう。



聞き取りメモは、書かれている内容ごとに分類して貼らせると振り返りが容易になります。また、スピーチの良い点だけでなく「改善点」にも触れ、まとめることが大切です。

学級会や生徒会活動、学校行事での発表など、様々な場面でメモが役立つことを意識させましょう。

〈関連する場面〉

「伝え合う言葉 中学国語1」教育出版 友達のスピーチを聞く「国語1」光村図書 「好きなもの」を紹介しよう スピーチをする

〈関連する問題〉

「令和2年度 解説資料 中学校国語」 P.12～19